

大会名 Competition	第38回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-108	Year Month Day Time 2025 年 5 月 5 日 9 : 00
場所 Place	能代市ニツ井町総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA 藤枝明誠 69 ●	20 1st 14 23 2nd 9 14 3rd 24 12 4th 26 0 T	チームB 駒大苫小牧 73 ○
-----------------------------	--	------------------------------

主審:Crew chief
佐藤 匠 秋田
副審:Umpire
齋藤 文弥 福島
石郷岡 いつか 秋田
テーブル・オフィシャル:Table officials
能代高校 男子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
5		戸田 湧大		-	-	-	-	0	2	×	宮森 昊太	cap	13	2	3	1	0
12	/	永田 貴陸		0	0	0	0	0	5	/	遠藤 三太		0	0	0	0	0
13	×	渡邊 聖	cap	10	2	2	0	1	6	/	菅野 幸志		17	5	1	0	0
14	/	福岡 聖也		6	2	0	0	0	8		佐々木 海波斗		-	-	-	-	0
19	×	野津 洸創		2	0	1	0	1	11		浜瀬 光希		-	-	-	-	0
21	/	高平 爽太		8	0	4	0	0	12	/	坂井 琉晟		14	1	3	5	3
31	/	金子 來樹		5	1	1	0	1	13	×	升屋 杏太		4	0	2	0	3
35	×	柴田 陽		4	0	2	0	1	20	×	マール マーベラス	オウチヨシ	11	1	3	2	4
43	/	ソバイモトウ		2	0	1	0	1	21		齊藤 龍明		-	-	-	-	0
44	×	アメル エマニエル・チネメルン		23	1	7	6	4	24		野中 友惺		-	-	-	-	0
47	/	高松 悠季		2	0	1	0	1	25	×	垣内 雄士郎		6	2	0	0	2
51	/	福本 彩人		6	0	3	0	1	31		高橋 甘太郎		-	-	-	-	0
55	/	小森 蒼斗		1	0	0	1	1	34		ディエゴ サイモン ビデミ		-	-	-	-	0
77	/	徳田 翔太		0	0	0	0	1	35		熊谷 海凜		-	-	-	-	0
78	×	関口 凜太郎		0	0	0	0	1	55	×	袋井 想之介		8	1	2	1	5
コーチ		金本 鷹						0	コーチ		田島 範人						0
		合計		69	6	22	7	14	コーチ		島倉 海						0
									合計				73	12	14	9	17

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	23	33.33%	アメル エマニエル・チネメルン
2	10	14.49%	渡邊 聖
3	8	11.59%	高平 爽太

1	17	23.29%	菅野 幸志
2	14	19.18%	坂井 琉晟
3	13	17.81%	宮森 昊太

Score ranking[Game]

1	23	アメル エマニエル・チネメルン	藤枝明誠	2	17	菅野 幸志	駒大苫小牧	3	14	坂井 琉晟	駒大苫小牧
---	----	-----------------	------	---	----	-------	-------	---	----	-------	-------

1Q、両チームマンツーマンディフェンスで始まる。序盤、駒大苫小牧は#20マーベラス、藤枝明誠は#44チネメルンがゴール下の脅威となり、互いに主導権を握れず膠着。終盤にかけて藤枝明誠#51福本#55小森らベンチメンバーがいぶし銀の活躍で6点のリードを奪い、20-14。

2Q、駒大苫小牧は#2宮森が攻撃をコントロールするが外角からのシュート確率に悩む。#20マーベラスが3回のファウルもあり点数を伸ばせない。一方藤枝明誠は#21高平#31金子の巧みな攻撃の組み立てがチームに流れをもたらし、#14福岡の連続3Pで一気に突き放す。43-23で前半終了。

3Q、駒大苫小牧は田島監督の檄を受け、速い展開から#2宮森#6菅野#55袋井が3Pの雨を降らせ点差を縮める。藤枝明誠は#19野津がポストアップやミドルジャンパーで対抗するもヒットせず、重い雰囲気漂う。57-47、藤枝明誠10点リードで最終Qへ。

4Q、駒大苫小牧が勝負をかける。立ち上がりから果敢にリングヘアタックを仕掛け、持ち前の爆発力を発揮して3点差に迫る。さらにハードなディフェンスで藤枝明誠にミス誘発させ、残り2分30秒でついに同点。そして#25垣内の勝負強い3Pで逆転に成功。窮地に追い込まれた藤枝明誠は金本監督が「自分たちで打開しろ」と檄を飛ばすも、流れは完全に駒大苫小牧。追いつけないままタイムアップを迎え、69-73で駒大苫小牧が劇的な勝利を収めた。

駒大苫小牧は初の全国ベスト8以上への進出に大きな弾みをつけた。藤枝明誠は全国屈指の実力を持ちながらも悔しい敗戦。この経験を糧として「全国初優勝」をつかんでほしい。

文責 【 木村 三星 】